

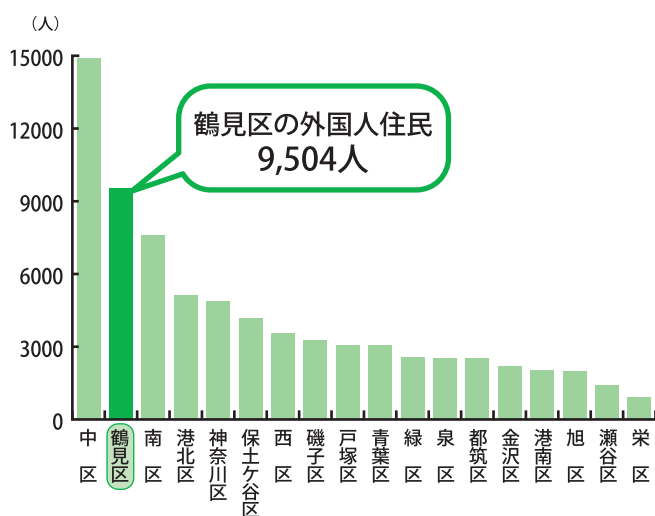
外国人住民

鶴見区の外国人住民

平成26年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は9,504人です。これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。

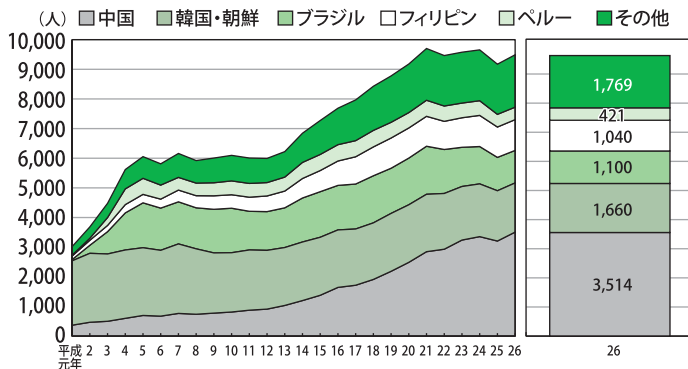
国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジルの構成比が大きいことがわかります。

◆18区別外国人住民数◆

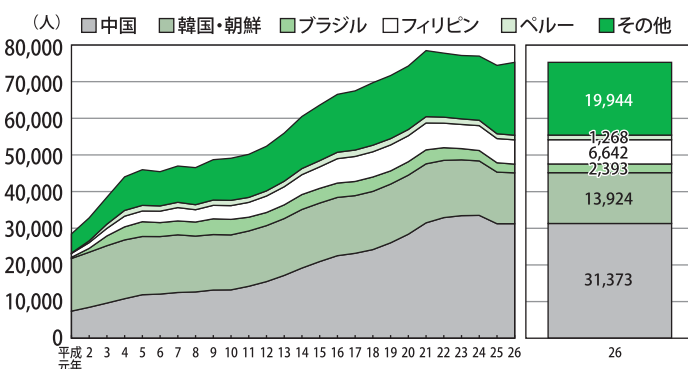


◆国籍別外国人住民数の推移◆

◀鶴見区▶



◀横浜市▶



資料 「横浜市統計書」各年3月末現在



鶴見区は、外国人児童数(※)が254人で、18区中1番多いよ!

※ 市立小学校に通う外国人児童の数
資料:横浜市教育委員会「市立学校現況」
(平成26年5月1日現在)

※注意※

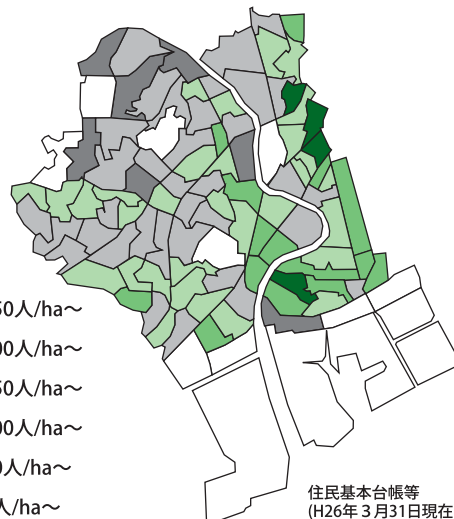
平成24年7月9日に「外国人登録法」が廃止になり、改正住民基本台帳法の施行により、外国人住民も住民基本台帳に記載されるようになりました。



地図でみる鶴見 ～人口密度～



※大黒ふ頭、扇島は省略しています。



住民基本台帳等 (H26年3月31日現在)

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一・三丁目、本町通、市場上町などです。

また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

